

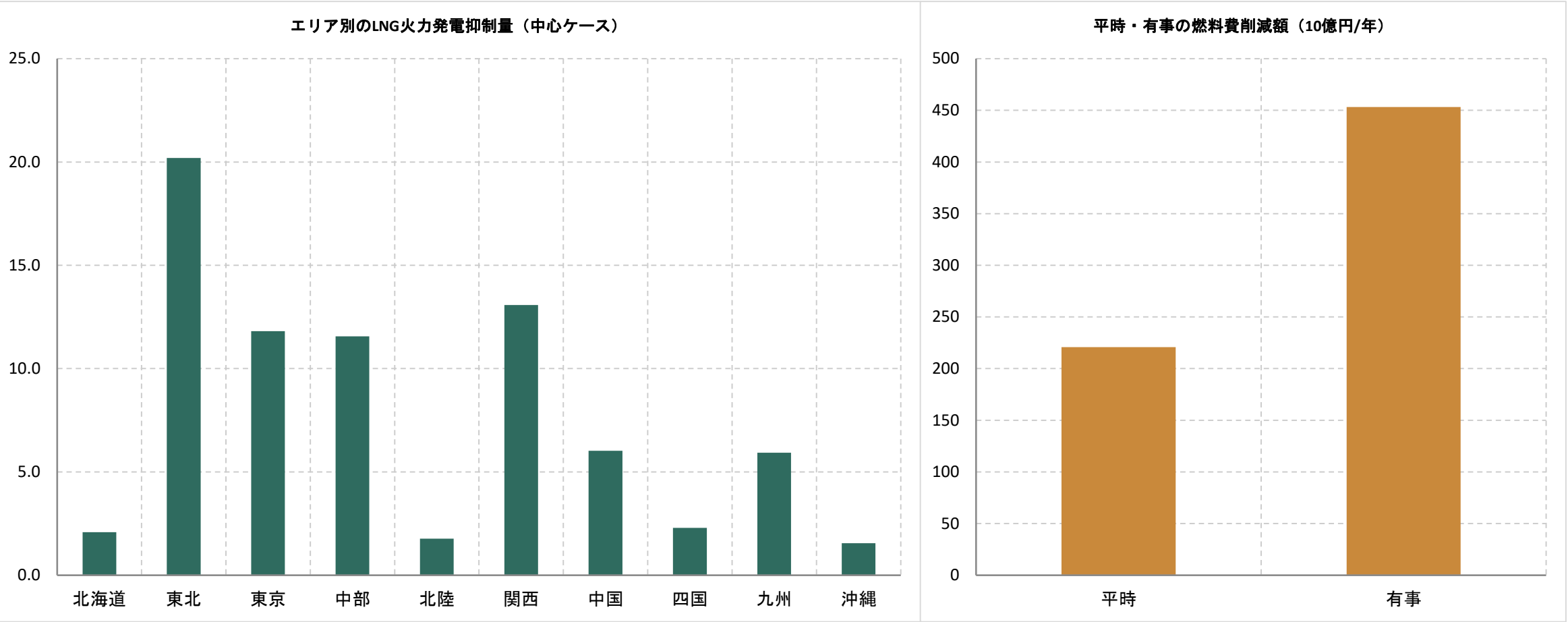
既設石炭火力の焚増しによるLNG火力発電の抑制

OCCTOユニット実績＋全国10エリア30分値 / 2025-08-01～2026-07-31 / 平時・有事とも財務省CIFから算出した燃料費のみ

OCCTO石炭火力発電電力量実績	中心ケース	平時の燃料費削減額（10億円/年）	有事の燃料費削減額（10億円/年）
248.5 TWh	76.3 TWh/年	221 10億円/年	453 10億円/年

中心結果（燃料費のみ）							
価格ケース	LNG火力発電 抑制量 TWh	燃料費差 円 /kWh	削減額 10億円	全国平均 円 /kWh	世帯400kWh 円/月	CO2増加 Mt	CO2増加（価格ケース共通）
平時	76.31	2.89	220.72	0.25	98.10	35.03	35.03 Mt/年
有事	76.31	5.94	453.26	0.50	201.45	35.03	

中心ケース：LNG火力発電抑制量76.31TWh/年。
燃料費削減額（燃料費のみ）：平時2,207億円/年、有事4,533億円/年。



分析上の留意点：各エリアの30分ごとのLNG火力出力は考慮しているが、個別LNGユニットの最低出力・起動停止、石炭火力の点検・故障、連系線の送電制約、燃料契約、市場取引、料金制度は織り込んでいない。詳細は「LDC Summary」と「Sources & Method」を参照。